

## 日光川公園整備運営事業 質問に対する回答

| No. | 資料名         | 頁  | 項目名      | 質問・意見事項                                                                                                            | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                | 回答日   |
|-----|-------------|----|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 14  | 募集要項        |    |          | 計画地には廃棄物から発生するガス抜き設備およびガス流量の継続的に測定を実施されているのでしょうか？あれば測定結果の提供をお願いいたします。                                              | 当該地は昭和43年から49年に名古屋市都市廃棄物等により埋め立てがされました。昭和53年にガス調査を行い、「盛土が砂質土主体のため通気性を有し、ガスが盛土内に充満している可能性は低く、特別な対策は不要」と考察されています。<br>埋め立て後40～50年程度経過しておりますが、塩害や廃棄物由来のガスの発生は確認されていません。そのため、ガス抜き設備やガス流量の測定等も実施しておりません。                                                                                | 6月25日 |
| 15  | 募集要項        | 14 | 遵守すべき法令等 | 廃棄物が埋まっているということですが、「最終処分場跡地形状質変更に係る施行ガイドライン」などに該当するような申請手続きや対策は不要と考えてよろしいでしょうか？                                    | 当該地は、「最終処分場跡地形状質変更に係る施行ガイドライン」の対象である「指定区域」として指定されていないため、ガイドラインを遵守する義務はありません。しかし、3000m2以上の土地の形状質変更に係る土壌汚染対策法上の届け出は必要です。                                                                                                                                                            | 6月25日 |
| 16  | 募集要項        | 32 | リスクと責任分担 | 廃棄物層の空洞化が原因での陥没等が発生した場合の責任分担は市として考えてよろしいでしょうか？※地質調査を実施したとしてもポイントごとの想定となり、全範囲を想定することが不可能なため。また廃棄物層を対策工事することができないため。 | 廃棄物層については埋め立て後40～50年経過しているため、現在はある程度安定状態にあると考えますが、募集要項別添資料集【別添資料1】に記載のとおり、盛土を構成する土層は軟弱地盤に相当すると判断されているため、事前に十分地質調査を行い、施工方法を検討してから施工する必要があります。<br>発生を予見することが困難な施工中の廃棄物層の掘り当てや施工後の陥没等については発生状況に応じて、都度協議することとなります。                                                                    | 6月25日 |
| 17  | DBに関する要求水準書 | 2  | (1)基本事項  | 「ク 河川保全区域」の範囲（境界線）の図示をお願いします。                                                                                      | 河川保全区域の図示について公表し得る資料がございませんが、日光川に関しては河川区域界から35mが河川保全区域として指定されています。                                                                                                                                                                                                                | 6月25日 |
| 18  | DBに関する要求水準書 | 3  | (3)環境配慮  | 「オ 雨水流出抑制を図る計画」とありますが、計画地は流域の最下流部に位置し、市街地、上流域とは条件が異なると思いますが、貯留施設(機能)まで整備が必要でしょうか？※なお雨水排水施設は浸透を基本とした整備をすることを前提として。  | 本市では名古屋市雨水流出抑制施設設計指針に基づき、市で管理する施設を整備する際は立地条件等に関わらず、原則、雨水流出抑制の対策を講じることとなります。対策の方法については貯留もしくは浸透により規定の容量を確保することとなっておりますが、当該地は河川保全区域にかかっている区域があるため、貯留・浸透施設の整備に当たっては河川管理者（愛知県尾張建設事務所）とも協議しながら進めていく必要があります。<br>なお、当該地は「名古屋市浸透適地マップ」において「要検討地」に指定されています。地底下に浸透施設を設置する場合には十分に調査する必要があります。 | 6月25日 |

## 日光川公園整備運営事業 質問に対する回答

| No. | 資料名             | 頁    | 項目名     | 質問・意見事項                                                                                                               | 回答                                                                                                                                                                                                                                     | 回答日   |
|-----|-----------------|------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 19  | DBに関する<br>要求水準書 | 3    | (4)設計   | 「ア 名古屋市設計業務標準仕様書に定める基本設計」とは、第6編 公園緑地編 6-2-3公園基本設計の部分でしょうか？                                                            | 基本設計、実施設計共に「名古屋市設計業務標準仕様書」に従って実施していただきます。基本設計においては第6編 公園緑地編 6-2-3公園基本設計は勿論、それだけでなく、第1編共通編や6-2-5成果品、様式集など基本設計に係る部分はございます。実施に当たっては全体を熟読した上で本市と協議をしながら進めていく必要があります。                                                                       | 6月25日 |
| 20  | DBに関する<br>要求水準書 | 4    | (4)設計   | 「ケ 名古屋市設計業務標準仕様書に定める照査技術者」とは、第1編 共通編 1-1-8照査技術者及び照査の実施(2) 資格要件で示す資格保有者ということでしょうか？                                     | その通りです。設計業務実施に当たり、別紙1-3-1、1-3-2にあるように着手前に「照査技術者届」を提出していただきます。                                                                                                                                                                          | 6月25日 |
| 21  | 別添資料            | 7    | トレンチ現況図 | トレンチ(コルゲートパイプφ3500~4500)および巻き立てコンクリートなど既存設備埋設配管はすべて撤去する必要があるでしょうか？送水管等の小口径の配管のみでいいでしょうか？※大口径の配管を撤去時に廃棄物層への影響が懸念されるため。 | 原則すべて撤去する必要があります。<br>しかし、地下廃棄物や地盤沈下の影響、残置による将来的な陥没の発生リスクが低い施工方法の提案があるなど合理的な理由がある場合は、残置を認めるケースはあると考えています。残置等の処理を行う場合は、その理由と残置方法、該当箇所が分かる図面とともに資料として取りまとめ、事前に本市と協議してください。<br>また、再利用のアイデアがある場合は、本市と協議の上、再利用が可能です。その場合、安全性を検討・担保する必要があります。 | 6月25日 |
| 22  | 別添資料            | 8-13 | 各設備現況図  | 整備に影響する箇所は全て撤去しますが、影響しない箇所について埋め殺し処理でもよろしいでしょうか？                                                                      | No. 21と同回答。                                                                                                                                                                                                                            | 6月25日 |